



学校便り

No. 20

※番号は昨年度から継続

夢・挑戦

令和3年3月23日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

祝卒業70名「諦めない、考える力、人間性」

卒業式の式辞で、3つのことを話しました。一つ目は、絶対に諦めないことです。勉強や部活動、そして仕事もうまくいくことばかりでなく、むしろ失敗する方が多いと思います。人は誰でも失敗します。大切なことは、失敗から学び失敗を恐れず、何度でも立ち上がり何度でも挑戦することです。パナソニック創業者の松下幸之助さんは、「今日諦めれば、明日の成功は決してあり得ない。最後の最後まで諦めない。成功とは成功するまで続けることである」と述べておられます。



【卒業式 卒業生合唱「正解」】

二つ目は、考える力と創造力を身につけることです。人工知能AIは、データ分析や決められた作業を正確に速く処理することはできても、スマートフォンや自動運転などの新しい技術や物を創造することはできません。考える力や創造力は、自分と向き合う一人の時間を持たなければ育ちません。一番いいのは読書です。読書をすることで、考える力が育成され、創造力や新しいアイデアが身につけてきます。以前の学校便りにも書きましたが、「人生はどんな人物に出会い、どんな言葉に出会ったかで決まる」「人は仕事で磨かれ、人は読書で磨かれ、人は人によって磨かれる」とあるように、読書はとても大切です。

三つ目は、自分自身の人間性を高めることです。夢や目標の実現は、自分一人の力では達成できません。周りの人の支えや協力が不可欠です。勉強も部活動も、知識や技術だけでなく、人間性も同時に高めていかなければ、周りから信頼も応援もされません。人間性は、言葉や行動、態度に表れます。笑顔で挨拶する、時間を守る、履き物を揃える、道具を大切に使う、嘘をつかないなど、当たり前のことを当たり前に行って人間性を高めてください。

以上、三つのことを踏まえ、自分の夢や目標を必ず実現してください。

本年度を振り返って、

新型コロナウイルス感染症の影響で、4月の卒業式、入学式の実施後、再び5月まで臨時休校となりました。部活動や郡市中体連総体、郡市中体連陸上などの中止、学校行事の縮小など、学校教育活動に大きな影響がありました。自由に外出したり、友達と遊んだりできず、悩みやストレスを抱えていた生徒もいたのではないのでしょうか。

さて、今年1年を振り返り、良い点と課題をまとめました。課題は、次年度頑張ってもらいたいです。

【良かった点】

- 授業中、友達と教え合ったり、協力したりする場面が多くなった。
- 積極的に発表や質問をするようになった。
- 授業の1分前着席が徹底されてきた。
- 朝自習の基礎学力テストを一生懸命努力した。
- 給食をよく食べ、残菜が劇的に改善された。
- 持久走や英単語練習など、辛いことや苦手なことでも、頑張って挑戦するようになった。

【課題】

- 宿題や提出物の期限が守れない。
- 相手のことを考えない言動で、相手の心を傷つけてしまうことがあった。
- 夜遅くまでテレビやゲームをして、遅刻や忘れ物など学校生活に悪影響があった。
- スマートフォンの使い方のルールが守れず、友達に迷惑をかけた。

長年に渡り、本校の学校運営協議会会長であられた井上能智王様が、3月9日にお亡くなりになりました。サラ玉の植付けや収穫のご指導、体育大会、文化祭、授業参観などの学校行事に、1年に何回も来校して頂きました。葬儀の受付で、「先生」と声をかけられ、中高連携で水俣高校に1年間勤務したとき担任した生徒で、井上様のお孫さんでした。心よりご冥福をお祈りいたします。また、3月11日、1・2年生は児童職員84名が犠牲となった石巻市立大川小学校の遺族である佐藤さんと、オンライン中継で特別授業をしました。小学6年の娘さんは、地震当日に中学校の制服が届き、帰宅後、制服に初めて袖を通すはずでした。佐藤さんは「娘に中学校の制服を着せてあげたかった」と語っておられます。今を生きる私達は、一日一日を大切にしなければなりません。

※保護者、地域の皆様、1年間お世話になりました。